



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子! 413名

【今回の学校だよりも、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。( )】

## 1学期のクラブ活動(4年生、5年生、6年生)が終わりました。

小学校のクラブ活動は、特別活動(学級活動、児童会・生徒

会活動、学校行事、クラブ活動)において育成することを目指す資質・能力については、「人間 関係形成」、「社会参画」、「自己実現」の三つの視点を踏まえて、クラブ活動内容の充実のポイントは「同好の異年齢の児童が共通の興味・関心を追求する活動であるとした上で、児童が計画を立てて役割分担し、協力して楽しく活動するものであること」が学習指導要領解説にあげられていますので、2学期もより楽しく活動してほしいと思います。



運動場で活動する3クラブの皆さんの様子です。(17日)

## 本校の研究について先日

### 研究主任の安部航太先生とともに、脇田哲郎先生に講師招聘のお願いに伺いました。

本校の学校目標は、「①豊かな心と ②自ら学ぶ心を持ち、③たくましく生きる 子どもの育成」です。私共は、学力面の②、体力の③の前に、豊かな心①を持つことが確かな学力を身につける子どもの育成の大前提と考え、昨年度に引き続き、『特別活動の「学級活動：』を研究していくこととしました。そこで、昨年度は、福岡県教育庁筑豊教育事務所の中原正文指導主事に「活動のリフレクションの方途及び工夫」等を中心に学びました。

その中で、課題にあがったのは、そもそも「子どもたちが切実な問題意識を持ち主体的に考えることができる課題設定とは?どうあるべきか」ということです。今年度、本校の先生方のより高いレベルで研究したいという熱意に動かされ、私の友人にお願いして日本で最高峰の「特別活動」の研究の第一人者をご紹介いただきました。文科省現学習指導

要領の「特別活動」改訂に関わられた当時福岡教育大学教職大学院教授であられ、現東筑紫短期大学教授でいらっしゃる脇田哲郎先生です。脇田哲郎先生は、本校の研究主任の安部航太先生の研究テーマに関する説明を聴かれたのちに、こうおっしゃいました。「今度、安部航太先生の特別活動：学級活動(1)」の提案授業を見せていただき、その後、飯塚東小学校の先生方と特別活動の「学級会活動」について共に学び合ひましょう。つまり、お伺いしますよ。」とってくださいました。日本の最高峰の特別活動で有名な研究者の脇田哲郎先生が、講師として来てくださるなんて…。まるで夢のようです。脇田先生のおっしゃった言葉で印象に残った言葉はたくさんございますが、1つだけと言われましたら、「特別活動は子ども達にとって楽しい活動でなければなりません。」とおっしゃったことです。楽しい学級活動になるための安部航太先生の6年3組の全体研修：提案授業は7月4日午後には脇田哲郎先生をお迎えして全職員に見守られながら開催されます。きっと、6年3組安部航太学級は、相手の思いを受け止めてきたり、相手の立場や考え方を理解したりして多様な意見の良さを積極的に生かして合意形成を図る子ども達のすてきな考えやはつらつとした声がとびかき、航太先生が子ども達の意欲的な笑顔の実践に誘う授業が展開されることと思います。ps 脇田哲郎先生に大切にされているお言葉をお尋ねしましたところ「壁に貼られているある額縁の中のお言葉をいただきました。・・・負けるな、うそをつくな、弱いものをいじめな。」!?!)



## アルミ缶回収等でみなさんとためたお金で理科室に移動式冷風機を購入にむけて動こうとしています。

### お知らせとお願い

理科室への冷暖房機器設置をここ数年間市にお願いしていますが、特別教室へのエアコン設置については優先順位からしてもまだ先になりそうであるという回答をいただいております。つまり、小中一貫校以外の小学校が19校中15校ありますが特別教室への冷房機器の設置工事の見通しが立っておりませんとのことです。前山下PTA会長さんや、現会長の丸井PTA会長さんや役員の皆様をはじめ、関係職員の方々にご理解をいただいて3年目となるPTAアルミ缶回収や古紙回収の収益から移動式冷風機(約5万円前後くらい)を購入に向けてコツコツ努力して集めています。あと少しのところまで来ていますのでご協力よろしくお願ひいたします。アルミ缶をいただくと大変助かります。私の計算では少なく見積もってアルミ缶4本で約1円になります。1キログラムで約100円前後ともいわれています。

実験の時は理科室でさせたいのですが、暑いので冷房がきいていて少しは涼しい教室といたり来たりをされています。昨年つくった書道教室も今からは暑いので狭いのですが冷房の効く教室でしないといけません。(教室は移動し、環境を変えたほうが学習の効率が上がりますし、実験の準備や片付け、次の授業への切り替えに特別教室で行ったほうが時間を要しません。)



学期末にアルミ缶をゆすいで持ってきてください。

学期末に再度アルミ缶回収等のご案内をさせていただきますので、その時は何卒ご協力のほどをよろしくお願いいたします。





# 理科もとっても大好き4年生!(^^)!

宮下浩信先生ありがとうございます

～4年生の理科を中心に指導いただいています～



今年度の人事異動で、鯉田小学校から今年度赴任された宮下博信先生は、4年生の理科を中心に、専科教師として子ども達の指導にご尽力いただいております。4年生の理科では、学習の過程において、自然の事象・現象から見いだした問題について、1年生から3年生の間までに学習してきた内容や、生活経験をもとに、根拠のある予想や、仮説を発送する力や、主体的に問題解決しようとする態度を育成することがねらいであるということが文

部科学省の学習指導要領に記載されています。また、文科省の令和4年度の全国学調のアンケート結果から、小学校と比較して中学になるにしたがって理科に対する抵抗感が増えてきているとあり、また別の機関である東レ経営研究所の分析によりますと、アメリカやドイツ・イギリスなどの先進国でも同様の結果が出ているとあります。「理科離れ」ではなく「理科学習の体験不足」とあり、実験や観察が好きな子ども達がしっかり満足するまで体験できていないからではないか。という見解も2007年以降出されています。本校では昨年度、上村先生に4・5・6年生の理科の専科教師としてご指導いただき、理科実験や自然現象好奇心の種をまいていただきました。本当に感謝しております。



私どもは、4年生の理科学習は分岐点(ターニングポイント)ととらえ、今年度、人事異動で鯉田小学校からおみえになられた、宮下浩信先生が、鯉田小学校においてICT活用教育や理科の専科指導に優れた力を発揮してこられた先生でありますので、ICTを  
する知的好奇心を引き出し、並びに興味・関心を高めてくださることをお願いして現在ご  
実績ある工業系大学を2校、短期大学1校誘致し、アメリカのアップルやインテルなど  
のあるサンノゼ市と姉妹都市となった科学技術等先進都市でありますから、国策と  
「科学技術と社会をつなぐ活動」に本校の児童も参画して、必ず世界に貢献する日が、訪れ

駆使された教育実践や、子ども達の理科に対して  
指導いただいております。なお、飯塚市は  
のIT企業(半導体メーカーを抱える企業)  
合致して強い意思を持って息の長い時間軸で  
ると信じてやみません。

